

海洋生分解性プラスチックの標準化に係る検討委員会（第1回）

議事概要

日 時：令和元年7月22日（月）

出席者：委員会委員等名簿参照

（議事概要）

事務局より本委員会の設置目的を説明するとともに、本委員会の下部組織としてワーキンググループを設置することとした。

今後、プラスチック材料の海洋中での生分解性を確認する試験を簡便に実施でき、再現性及び実海域での生分解を担保できるような試験方法を開発し、ISO 国際標準化を目指す。これらを活用することにより、海洋生分解性プラスチックの評価が容易になり、認証機関等による信頼性の高い識別表示が可能となる。このような活動を通して、海洋生分解性プラスチックの開発・普及を促進する方針で一致した。

今年度の検討事項として、①2020年代初頭のISO等への国際標準の提案を目指した活動計画を作成すること、②既存又は新規提案されている関連規格の最新状況を把握すること、③新たな簡便で信頼性の高い評価法を前期関連規格と比較検討すること、④国内の試験機関等の状況調査を行うことの4つが挙げられた。

今年度のスケジュールとして、上記検討事項についてワーキンググループで検討し、秋ごろと、本年度末の二回、本委員会にて報告を行うことが確認された。